

赤十字血液センターからお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より日本赤十字社の血液事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で参集での開催が中止になった令和2年度北海道合同輸血療法研修会で、皆様にお伝えする予定であった4つの内容を紙面にまとめましたのでご一読ください。

ご不明な点は、最寄りの血液センター学術情報課職員までお問い合わせください。

謹白

日本赤十字社北海道ブロック血液センター
所長 紀野 修一

1. インターネット注文について
2. 血小板製剤輸血時の注意点
3. 診療科別赤血球製剤使用量モニタリングを始めました
4. 献血WEB会員サービス「ラブラッド」について

1. インターネット注文について

インターネットで血液製剤の注文が可能です!!

電話やFAXに替わる注文方法です。
手書き伝票による過誤防止や、災害時にも役立ちます。
納品希望日をカレンダーから選択できるのも便利。
院内在庫製剤で主要な赤血球型を調べることもできます！



お申込みには事前のユーザー登録が必要です。

お申込み・お問合せは、最寄りの赤十字血液センター学術情報・供給課までご連絡お願いいたします。

2. 血小板製剤輸血時の注意点

血小板輸血時、Bag内の異物や輸血速度の低下にご注意を！

2007年以降の輸血後細菌感染事例19例のうち6例で、血小板製剤中に凝集物が見られたり、輸血速度(流速)の低下などの異常が認められています。



3. 診療科別赤血球製剤使用量モニタリングを始めました

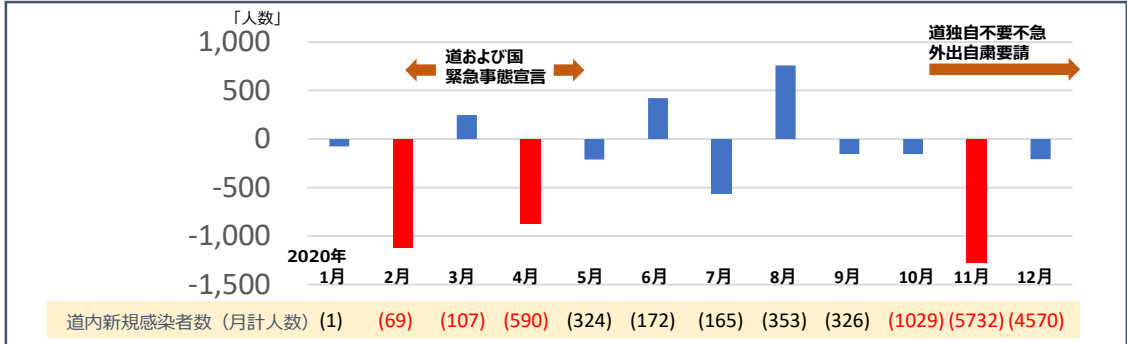
本年1月より診療科別赤血球製剤使用量のモニタリングを開始し、現在45施設のご協力をいただいています。血液センターでは、輸血療法委員会などのために集計したデータの提供をいただける施設様を継続的に募集しています。

なぜ、血液製剤の使用量モニタリングが必要か？

北海道では、昨年2月～4月、そして11月と新型コロナウイルス感染症の影響で献血者が急速に減少し、血液製剤の安定供給に支障をきたしかねない事態となりました(下グラフ)。企業・団体様での献血受入キャンセル、各種イベント中止、教育機関の休校などにより、移動献血車の行く先を確保するのに大きな影響を受けました。現在も新型コロナウイルス感染の収束は見通せない状況で、さらに地震・台風・洪水・暴風雪など大規模自然災害が発生すると、献血者確保が一層厳しくなりことが懸念されています。

輸血用血液製剤は使用期限が短いことから、安定的に供給するためには需要に見合った献血受入計画をたてる必要があります。診療科毎（特に血液内科、心臓血管外科・消化器内科・救急・ICUなど）の使用量を可能な限り**オンタイムでモニタリング**できると、最新の医療情勢に見合う血液製剤使用量を把握できるため、献血者に負荷がかからない過不足ない献血受入計画を作ることができます。そうすることで、新型コロナ感染症や大規模自然災害発生時にも、血液製剤の安定的な供給を維持していくことができると考えています。

表) 400mL献血受入計画人数に対する献血協力人数の月別推移 <データ：献血協力人数-献血計画人数>



4. 献血WEB会員サービス「ラブラッド」について

「ラブラッド」会員大募集！！



ラブラッド

輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、医療機関へ安定的に血液をお届けするためには、輸血用の血液を過不足なく確保する必要があります。

日本赤十字社では、年間で複数回、献血にご協力いただける方を募集するため、平成18年に「複数回献血クラブ」を設立し、平成30年には「献血web会員サービスラブラッド」としてリニューアルしました。ぜひ会員登録をお願いいたします。

ご登録いただくと、簡易に献血のWeb予約ができるようになり、血液の検査結果もいち早くわかるようになります。また、全国共通のポイント制度の導入により、一定のポイント数と記念品が交換できるほか、住所変更などのお手続きもWeb上で行うことが可能です。

詳しくは公式HPをご参照ください。 <http://www.jrc.or.jp/donation/club/>